

1 指導者のためのプロジェクトアドベンチャーセミナー

平成18年4月28日～30日

1 ねらいとその達成状況

| | | | |
|------------------------|--|--------------|--------------------------------|
| 事業項目・区分 (現代的課題等) | 冒険教育指導者・関係者の研修事業 主体性，社会性を育むための体験活動等事業 | | |
| 事業のねらい (学習要求や必要課題等) | 他人や自己の「気づき」を青少年が体験的効果的に学ぶための手法であるプロジェクトアドベンチャー(以下PA)を学校教育・青少年教育・地域活動等の指導者が体験し，指導者としての資質を向上させる。 | | |
| ねらいの達成状況 (参加者の変容等) | 青少年の指導に有効なアクティビティを体験したり，体験学習の理論を実践的に学んだりして，すぐに日常的な活動において活用できる内容であった。 | | |
| 参加者のアンケート 結果(満足度) | 事業全体 運営 | 100% 100% | プログラム 職員の指導・助言 100% 100% |

2 企画・立案

| | | | |
|-----------------------|---|------------|---------------|
| 事業の必要性 (理由・背景等) | 青少年の問題行動の多くは社会性の欠如に起因するとされる。青少年に望ましい社会性を身につけさせることは、喫緊の教育的課題である。そこで教職員や青少年教育関係者を対象に、体験学習の新しい手法であるPAを活用した指導法を学ぶ機会を提供し、指導力の向上を図ることにより、青少年のコミュニケーション能力や社会性の育成に資することとする。 | | |
| ニーズの把握状況 | PAの手法は全国的に普及し、有効な教育手法であると認識が広がりつつある。指導者や教育関係者等から、教育活動に取り入れるためのセミナーの開催が求められている。 | | |
| ねらいとプログラムの関係 | 体験学習のサイクルについて理論学習し、さらに実際にエレメント(施設)を使用しての実習を行うことにより、PAの手法を各指導者が活用できるようにした。 | | |
| 主なプログラム (タイムテーブル) | 第1日 | | |
| | 時 間 | プログラム | 活動内容概略 |
| | 13:00～13:30 | 開会式 | ねらいの共有化等 |
| | 13:30～15:00 | 講義 | ファシリテーションのヒント |
| | 15:00～17:00 | PA実習 | アイスブレイク等(室内) |
| | 19:00～20:30 | 講義 | アクティビティについて |
| | 第2日 | | |
| | 時 間 | プログラム | 活動内容概略 |
| | 9:00～12:00 | PA実習 | 全体からグループ別へ |
| | 13:00～16:00 | PA実習 | グループ別実習 |
| | 19:00～20:30 | 講義 | ファシリテーションについて |
| | 第3日 | | |
| | 時 間 | プログラム | 活動内容概略 |
| | 9:00～12:00 | PA実習 | 全体からグループ別へ |
| | 13:30～14:00 | クロージング・閉会式 | ふりかえり |
| 事業の改善点 (継続事業のみ) | 申込み時にPAの経験値や活かしたい分野を聞き、グルーピングする時の参考にして、グループ内のモチベーションを高める工夫をした。 | | |
| 企画・立案体制(関係機関・講師との連携等) | (株)プロジェクトアドベンチャージャパン(PAJ)の指導員に講師を依頼し、事業のねらいを共有化し、プログラムデザインについても、スタッフ間でコンセンサスを得た。 | | |
| 募集人数の設定基準 | 参加者が十分にPAを体験し、その指導方法について理解を深めることができる最大人数を、講師と相談の上で設定した。 | | |
| 実施時期の設定理由 | 研修成果がすぐに日常の教育活動に活かせるように、年度初めに設定した。 | | |

3 参加状況等

| | |
|------------|---|
| 募集人数・募集対象 | 募集人数：20人 募集対象：教職員，青少年教育施設職員，青少年団体職員等 |
| 参加者数(申込者数) | 参加者数：21人(申込24人) |
| 参加者内訳 | 高校生：0人，学生：1人 社会人：20人(20代9人，30代8人，40代2人，50代1人) |
| 参加地域 | 設置道県：9人， 設置道県以外：12人(内訳：栃木県3人，埼玉県1人，東京都4人，神奈川県1人) |

| | |
|-------|---|
| | 人，福島県1人，新潟県1人，山梨県1人） |
| 広報活動 | 開催要項・チラシの配布及び掲載（関東地区の社会教育施設・都道府県委員会等・青少年教育団体・各種学校・WEB上・新聞・広報誌等） |
| 参加費 | 6,000円 |
| 運営担当者 | 企画指導専門職：4人 |

4 事業実施

| | |
|--------------------------|---|
| ねらいの周知・方法 （参加者・講師・職員） | 参加者には，WEB上でねらいや当日の内容を確認できるようにした。さらに2次案内によりねらい等を周知した。講師と職員とはメールのやりとりや事前の打ち合わせにおいて，ねらいを共有化した。 |
| 参加者の学習状況 （学習内容・方法） | 経験値及び研修目的により，第2日から2グループに分け，研修した。一方はPA体験をベースにファシリテーションの方法を学び，もう一方は支援や指導の方法を学ぶことを主にして，その確認時にPA体験を織り交ぜるという展開にした。 |
| 日程運営 （スケジュール） | アイスブレイク，PA体験，体験学習法や指導方法についての講義・協議等が効果的に学べるプログラムとなるように日程を作成した。 |
| 学習環境 （施設設備・教材資料等） | PAコースに近い音楽室を，ベースの会場として設定した。また，PAコースへもそこから出発できるようにした。さらに，音楽室で研修内容をふりかえったり，全体でわかちあえたりする場になるように，アクティビティリストを作成し，壁面に掲示するなどの工夫をした。 |
| 健康・安全対策 | 安全管理マニュアル（「あかぎ自然学校セーフティマニュアル及びLOP」，以下マニュアル）に基づいて活動中の安全対策を実施した。緊急体制については事務室待機職員と連携し，スタッフ全員で手順を確認した。会場になる音楽室には，水分補給のコーナーを設け，同時に屋外へ行く場合にはペットボトル飲料水を配り，参加者全員の体調管理に配慮した。 |
| 講師・関係機関等との連携 （ボラ等を含む） | 講師派遣を依頼したPAJに対し，実施前にコース点検を依頼して安全対策を講じた。また，事業のねらい，雨天対応も含めてのプログラム内容，その進行予定，安全対策等を確認した。 |

5 事業実施後の評価や普及

| | |
|-----------------------------|--|
| 参加者の評価 （アンケートの自由記述等から） | 「内容の濃いプログラムから得たことを，少しでも日常や職場に持ち帰って頑張りたい」「PAの視点を取り入れ，支援者・指導者として地域活動や青少年活動に取り組みたい」などと，研修成果を各々がかわる教育現場に生かしたいという感想が多く聞かれた。 |
| 講師・関係機関等の評価 | 参加者のモチベーションが高く，PAの手法を日常レベルに持ち帰って活用してくれる可能性を強く感じたとの評価を得た。 |
| 職員の評価 （企画段階から関わったボラ等を含む） | 講師との共通理解を十分図り，参加者の立場を考慮した運営をすることができた。教育関係者が多かったので，すぐにでも青少年教育に貢献することが期待される。 |
| 事業報告の状況 | 文教ニュース社や官庁通信社を通して事業内容を発信した。WEB上にも事業報告を公開した。また，所内にも報告の掲示をした。 |
| 普及実績 （計画・予定を含む） | 各教育分野の関係者及び青少年教育にかかわりたいと希望を持つ青年を対象としているため，各分野・各地域での教育的効果が期待される。 |
| 事業後の反応 （参加者・普及先等） | 今回の参加者から，当所のPA外部研修指導員として，新たに3人が登録し，研修支援事業に協力していただいている。学校においても，学級経営に役立てているとの報告もあり，今後の普及が期待できる。 |

6 その他の特記事項（成果等）

| | |
|--|--|
| <p>当所のPA関係のセミナーについては，昨年度より，「青少年教育指導者等の研修事業」と「先導的・モデル的な体験活動事業」とに分けて，参加者のPAの経験値及び活用目的等に応じた2事業を実施している。区分したのは，事業のねらいを明確化するためである。本事業は前者の指導者研修事業にあたり，その研修成果は参加者の各活動分野に活かしたり，PAの指導者（ファシリテーター）としてのスキルアップにつなげたりすることが期待される。</p> <p>今後は，さらに参加者層のレベルに応じた研修事業として見直し，PAの手法を日常的に教育活動に取り入れている指導者を対象にして，事例の研究やPAの有効性の検証などをプログラムに取り入れた事業の実施を検討する。</p> <p>なお，PAJで今回のような指導者層に対する指導は，高度な技能を持った指導者（トレーナー）が実施すると定めている。</p> <p>今回の講師：PAJトレーナー 鎌田学氏，田中晴美氏</p> | |
|--|--|